

## 選抜高校野球で健大高崎が初優勝

中山正光（11 組、高崎在住）

我らの「健大高崎」が第96回選抜高校野球大会で見事優勝した。群馬県として夏の大会は桐生第一高校と前橋育英高校が優勝しているが春の選抜は初めての快挙だ。

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/441435>

3月31日、甲子園球場で行われた決勝戦は、健大高崎が3対2で報徳学園（兵庫）を破り初Vを遂げた。

高崎健康福祉大学高崎高等学校は群馬県高崎市の私立高校である。略称は健大高崎。拙宅から北に5キロ、私が勤務していた職場から南に1キロの所にあり田圃に囲まれた牧歌的な高校である。工場への通勤の往復、この学校の前を通過したものだ。

私は35歳の時に日立製作所高崎工場に赴任して当地に居を構えて以来、75歳の今日まで40年、高崎は第二の故郷となった。

健大高崎は2000年まで群馬女子短期大学附属高校（女子校）だったが、2001年から男女共学となり、2002年に硬式野球部ができた。初めは部員が集まらず苦勞したと青柳博文監督は言う。男女とも強化指定部があり、体力・精神力・技術力を磨いており、硬式野球、ソフトボール、テニス、陸上競技サッカー等は全国レベルだ。

硬式野球部は甲子園には夏3回、春7回出場して群馬県の高校野球をリードしている。ただし、まさか優勝するとは思わなかった。学法石川（福島）、明豊（大分）に勝って、去年の優勝校山梨学院そして松井秀喜選手の母校で強豪星稜（石川）に打ち勝って波に乗り、遂に優勝候補の報徳学園まで撃破した。今回活躍した二人の投手（石垣と佐藤）はまだ二年生なので今後も期待したい。

それにしても、盛り上がりには欠けた選抜大会だった。雨天順延の影響もあったが、観客数が少なく内外野席に空席が目立った。

今大会から導入された低反発の金属製バットは試合時間短縮が狙いだったが、飛ばなくなってファールが多く、むしろ試合時間が長くなった。当然、ホームランもランニングホームラン一本を含む僅か3本で、健大高崎がホームランゼロで優勝したのも特筆だ。ただ、1点を争う痺れる展開も多かった。

（2024年4月1日記）

以上